

親の「平穏死」を見届ける



限りある命である以上、避けられない家族との最後の別れ。
「最後は自宅で」という思いを持たれている方も多いことでしょう。
生駒地区医師会は今回「西和メディケアフォーラム 生駒郡地域
ケア会議 市民公開講座」として、在宅での看取りを考える
市民公開講座を開催します。

日時

平成28年3月12日(土)

13時30分～16時(13時開場)

場所

いかるがホール(大ホール)
斑鳩町興留10丁目6番43号

[JR関西本線(大和路線)「法隆寺」駅南口より徒歩約9分]

入場
無料

申込
不要

定員
700名

直接会場へお越しください



開会挨拶

生駒地区医師会 副会長 小原 壮一

講演

「西和医療圏の在宅医療状況と
今後の展望」

奈良県医療政策部 理事 中川 幸士氏

「親の『平穏死』を見届ける
～これが最後の親孝行～」

長尾クリニック 院長 長尾 和宏先生



● 問い合わせ先

生駒地区医師会
生駒市東新町1番3号

☎0743-75-3535

Mail: ikoma@nara.med.or.jp

生駒地区医師会より地域の皆様へ



大切な人の最期の時間を あなたはどうか過ごさせてあげますか？

我々は、病気と闘います。

複雑な人体の構造の、どこかがうまく働かなくなったとき、人は病気になります。

病気になる可能性は、年齢を重ねるとともに大きくなります。

病気によっては、現代の高度な医療技術によって克服できることもあります、人間の力ではどうすることもできない病気が多いことも事実です。

我々は、老いと闘います。

何十年と使ってきた体も、永遠に保てるものではありません。

体の老化は20代から始まると言われ、今この瞬間も進んでいます。

これは、この世に生を受けた「生きとし生けるもの」すべての宿命でもあります。

我々医師は、この病気や老いと闘うため、日夜弛まぬ努力を続けています。

そして、地域の皆さんの健康を支えるために日々「最善」を尽くしています。

しかし、長い人生を終える時には、その「最善」は病室にはないかも知れません。

自宅にも、あなた自身の手でできる「最善」がある…。

一緒に考えましょう。



生駒地区医師会 在宅推進プロジェクト